



埼玉医科大学 総合医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL CENTER NEWS

NO. **51**

2018
August

CONTENTS

ご紹介

リウマチ・膠原病内科 天野 宏一 P-2

お知らせ

健康に役立つお話 診療サービス委員会 P-3

教室シリーズ

内分泌・糖尿病内科 松田 昌文 P-4

トピックス

平成30年度診療報酬改定について 事務部医務課 P-5

連載

電離箱線量計 放射線科 P-6

お知らせ

駐車場のご利用について 総務課 P-7

外来受診について／面会者へのお願い P-8

社小江戸川越観光協会



基本理念

安全で質の高い医療を提供し、
地域から信頼される医療機関を目指します。

リウマチ・膠原病内科

天野 宏一

当科はリウマチ性疾患、膠原病の診療とそれに関する臨床研究を行っています。

当科の医師を紹介させていただきます。

「リウマチ」とはどんな病気でしょうか？

古代ギリシャ語から派生した「Rheum」という語は「流れる」という意味で、「痛みをおこす物質が体中を流れること」が原因となって「あちこちに痛みを起す疾患」をこのように呼んだのが始まりとされています。したがって、単に「リウマチ」といっても一つの病気ではなく、現在でもリウマチ熱、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症などに「リウマチ」という語が使われています。したがって、「あちこちが痛む病気＝関節や筋肉など全身ないし複数の部位に痛みを生じる疾患」全般をリウマチ性疾患といいます。具体的には、変形性関節症、各種膠原病に伴う多関節の疼痛、脊椎関節炎、腱鞘炎などの整形外科的疾患、感染症に伴う関節痛、悪性腫瘍の遠隔症状（傍腫瘍症候群）による痛み、さらにはうつ病の1症状とも考えられている線維筋痛症などがあり、当科ではこのような疾患の診療を行います。しかし当科の主要診療対象疾患は、上記の中でも自己免疫異常（リウマトイド因子や抗核抗体などの自己抗体など）が検査で認められる疾患です。その代表が関節リウマチで当科の診療患者の約60%～70%を占めます。同時に膠原病に分類される全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、血管炎症候群（結節性多発動脈炎、ANCA関連血管炎、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、等）、混合性結合組織病、シェーグレン症候群などの診療も本来の当科の役割です。

膠原病やリウマチ性疾患の治療ではしばしばステロイド薬が使用されてきました。しかし現在、関節リウマチの治療ではメトトレキサートや生物学的製剤などの抗リウマチ薬が主流となり、ステロイドは脇役となりました。当科は早くから積極的に生物学的製剤による治療を実践してきました。感染症が出やすいという欠点がありますが、痛みがとれて、骨破壊・関節変形が抑制され、日常生活のレベルが上昇するなど患者様の満足度は高いです。全身性エリテマトーデス、血管炎症候群などでは現在でもステロイドによる治療が主体ですが、長期にわたるステロイド治療により有害事象（骨粗鬆症、骨壊死など）が問題となっています。この領域でも、ステロイド以外の免疫抑制薬や生物学的製剤が登場し、ステロ

イド減量への兆しが見えてきました。当科でも免疫抑制薬を併用するなど、ステロイド減量を試みる治療や、ステロイドを使用しない治療にチャレンジしており、その成果もいくつかすでに報告しました。また当科ではステロイドの副作用の代表であるステロイド性骨粗鬆症の治療に関する臨床研究も行っています。当科の臨床研究の大きなテーマは「リウマチ・膠原病診療におけるステロイドからの脱却」であり、下記のいくつかの研究を実施しています。

<当科の主な臨床研究>

- ① 成人発症Still病、リウマチ性多発筋痛症、巨細胞動脈炎、高安動脈炎、顕微鏡的多発血管炎に対する抗IL-6受容体抗体単独療法
- ② ANCA関連血管炎に対する抗IL-6受容体抗体単独療法
- ③ ループス腎炎に対するシクロホスファミド+タクロリムスの併用療法

<ステロイド骨粗鬆症に関する研究>

- ① 高齢者ステロイド骨粗鬆症に対するテリパラチドの有用性～ビスホスホネート製剤と比較
- ② テリパラチド投与終了後における抗RANKL抗体またはビスホスホネート製剤の有用性の比較

<入院患者の回診>

当科は20床のベッドが与えられており、膠原病自体およびその合併症の治療や日和見感染などによる入院患者を担当しております。毎週月曜の午後には教授回診と新入院患者を主体のカンファレンス、木曜日の午後は全入院患者を対象としたカルテ回診があり、そこで治療経過（細かな症状や検査所見の動きなど）をみて、治療方針を決定します。

<専門外来情報>

月曜～土曜の8：30～11：00まで初診担当医が対応し、2回目に専門の上級医の外来を受診して頂きます。2週間以上も続く不明熱、多関節痛や筋痛、リウマトイド因子や抗核抗体がでた、CRP陽性や血沈亢進が長く続くなどの検査異常がある患者は当科にご紹介下さい。定時の時間以外で診療のご相談がある場合は、お気軽に当科のホームページからメールでご相談頂ければ、対応をさせて頂きたいと思います。

<楽しく仕事するために>

医師同士、コメディカルの方々と年に一度教室旅行に出かけ、楽しいひと時を共有するようにしています。



また年に1回、私の自宅でターキーパーティーを行っており、こちらも好評です。



お知らせ



健康に役立つお話

診療サービス委員会

暑い毎日が続いています。水分を補給し脱水にならないよう注意しましょう。さて7月も、皆様に喜

んで聞いていただける内容を計画しました。お時間が許す限りご参加ください。お待ちしております。

【7月の予定】

日 時	場 所	内 容	講 師
7月13日(金) 1回目 11:00~ 2回目 14:00~	1階ロビー	アレルギーについて	小児アレルギーエディケーター 佐藤 栄美子 先生
7月26日(木) 1回目 11:00~ 2回目 14:00~	1階ロビー	抗がん剤治療による副作用で皮膚症状と対応について	がん化学療法看護認定看護師 島田 ひろ美 先生



内分泌・糖尿病内科

松田 昌文

ご自身が「糖尿病」と言われたり家族や友人の方がそのように診断されたりしたことはありますか？当院では多くの糖尿病の方の診療に携わっております。糖尿病は血液中のブドウ糖濃度が上昇し放置しておくとも問題を起こすので、痛くもかゆくもなくとも「病気」として治療を行います。具体的にどのような問題を起こすかという失明、腎透析、足の切断などお聞き及びかもしれません。さらに妊娠中の方では胎児が大きくなりすぎ母子ともども生命の危険にさらされます。

2017年度の内分泌・糖尿病内科で診療させていただいた糖尿病の方は推定で約2300人ですが、病院全体ではさらに多くの人数の方が受診されていると思われます。昨年度は妊娠中の糖尿病の方は83名おられました。

最近では「劇症1型糖尿病」という病態が注目されてきています。高度の多尿、口渇、多飲、さらに吐き気の症状が出現し治療を受けなければその日のうちに命にかかわる状態になります。抗がん剤の中で抗PD-1抗体薬と言われるもので起こることが判明しております。使用時にそのような可能性の説明をされている方は高血糖症状（口渇、多飲、多尿）を自覚したら予定来院日でなくても受診または直ちに治療担当医に連絡するようにしてください。

また糖尿病以外の病気や外傷で入院し糖尿病が見つかることも多くあります。入院中に食事の内容について確認させていただきインスリン注射が開始となりその指導をさせていただくことも多くあります。そのような方も「糖尿病教室」でどのような病気かを知っていただいております。

糖尿病診療を担当しているスタッフは医師のみではありません。管理栄養士、看護師、薬剤師、理学療法士、検査技師、臨床心理士(認定心理師)を含んだチームで診療をしています。日本糖尿病療養指導士という資格があります。当院では約40名のスタッフがこの資格を持っており熱心に糖尿病診療に当たっています。これだけの数のスタッフがこの資格を持っている施設はそれほど多くはなく、当院の糖尿病指導のレベルは一定の評価を得ております。入院中にしっかり病気について知っていただき、急性期や術後で血糖管理が一段落しますとご自宅の近くの医療施設に紹介させていただき診療継続をしていただきます。

当院にかかっておられない方でも他の医療施設か

ら糖尿病の「教育入院」として紹介を受けますと教育入院プログラムとして入院していただき、病態の確認と治療方針について医師と糖尿病療養指導士を含むチームでどのようにしてゆくかを患者さまと相談させていただき退院後は紹介元の医療施設での診療継続となります。

ぜひ参加しよう糖尿病教室！

「糖尿病教室」は毎週1回（火曜日10時）に実施しています。場所についてはインターネットの掲示板をご確認ください。1ヶ月4回で1コースとなっています。1週目は医師が担当、2週目は管理栄養士、3週目は看護師またはリハビリ科スタッフ、4週目は薬剤師と臨床検査技師がお話をさせていただきます。予約の必要もありません。

受講は無料です。ただし駐車場料金をご負担ください。テキストは大学の医療センターということもあり将来医療スタッフとなる学生の教育も兼ねておりますので、お渡しする際にお名前をいただきますが、無料で配布しております。受講の際に学生も一緒にいることがよくありますのでご了承ください。

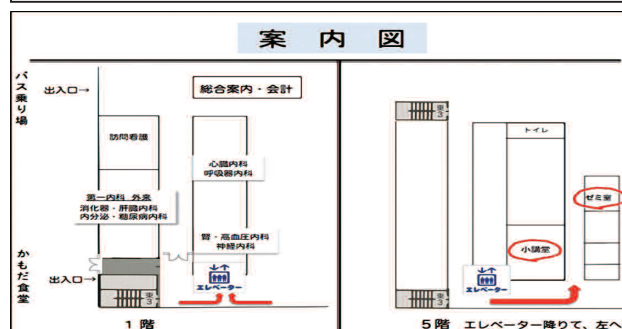
皆さま遠慮なく糖尿病教室を受講していただきますよう、ぜひお願いいたします。また、当院に通院されている必要もありません。ご家族の方でもOKです。

平成 30年 糖尿病教室

日時：火曜日（第1週1～4週） 午前10時より90分程度
場所：5階小講堂またはゼミ室
※駐車場料金 ご参加ください1時間までは無料（検印はございません）
どなたでもお気軽にご参加ください

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1週 糖尿病の基礎知識	休	6	6	休	1	5	3	7	4	2	6	4
第2週 食事療法	9	13	13	10	8	12	10	14	11	9	13	11
第3週 運動療法&日常生活の注意	16	20	20	17	15	19	17	21	18	16	20	18
第4週 薬物療法&検査について	23	休	27	24	22	26	24	28	25	23	27	25

※都合により教室が休みになる場合があります。 埼玉医科大学総合医療センター内分泌糖尿病内科



<http://www.endo-smc.umin.jp/a>

(案内は上記サイトや病院サイトの患者向けリンク)

平成30年度診療報酬改定について

事務部医務課

2018年4月に診療報酬改定が施行されました。診療報酬改定に伴い、患者さんの負担金額が一部変更となります。ご不明な点がございましたら、本館1階医務課窓口へお問合せ下さい。

(入院診療費に関するお問合せ先:入退院センター、外来診療費に関するお問合せ先:外来会計⑤番窓口)
診療報酬点数は2年に1度見直しが行われ、今回の改定は介護報酬改定と同時に行われました。2025年までに団塊の世代が75歳以上になり、介護・医療費等の社会保障費が急増することが懸念されております。2014年の診療報酬改定時より「病床の機能分化・連携」の進展、外来医療や在宅医療の「かかりつけ医」の役割の一層の強化を行うことが重要であることがポイントとなっており、地域における介護を含む切れ目のない医療提供体制を強化できるような見直しが基本方針として挙げられております。

平成26年度診療報酬改定の基本方針のポイント

平成25年12月6日
社会保障審議会医療保険部会
社会保障審議会医療部会

基本認識

- 入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図る。

重点課題

- 医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等
入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実 等

改定の視点

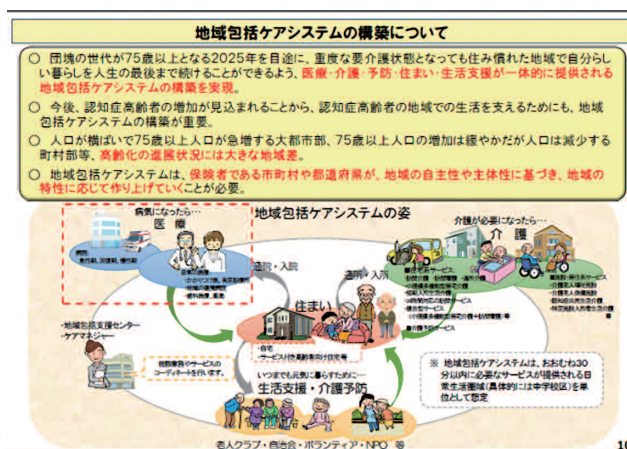
- 充実が求められる分野を適切に評価していく視点
がん医療の推進、精神疾患に対する医療の推進 等
- 患者等から見て分りやすく納得でき、安心・安全で質の高い医療を実現する視点
医療安全対策の推進等、患者データの提出 等
- 医療従事者の負担を軽減する視点
医療従事者の負担軽減の取組、救急外来の機能分化の推進 等
- 効率化余地がある分野を適正化する視点
後発医薬品の使用促進 等

将来に向けた課題

超少子高齢社会の医療ニーズに合わせた医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築については、直ちに完成するものではなく、平成26年度診療報酬改定以降も、引き続き、2025(平成37)年に向けて、質の高い医療が提供される診療報酬体系の在り方の検討も含め、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組んでいく必要がある。

(厚生労働省HPより抜粋)

当院のような高度急性期を担う大学病院においては、急性期の患者さんに対し早期安定化に向けて、診療密度の高い医療を提供することが求められております。地域の「かかりつけ医」より必要に応じてご紹介頂き、検査・治療を提供し病態が安定してきた時点で「かかりつけ医」へご紹介(逆紹介)することで、たくさんの地域の皆様に高度な医療を提供することが可能となります。



(厚生労働省HPより抜粋)

地域における医療機関の機能分化・強化連携を推進し、地域の保健・医療に貢献できるよう中核病院として「かかりつけ医」との連携強化を図り、がん・難病などを含めたあらゆる病気や怪我に対応できるスーパー総合病院(super general hospital)であり続け、今後も地域の皆様に安心で質の高い医療を提供する医療機関を目指してまいります。

また、2018年8月より高額療養費の一部変更がなされます。

平成30年8月から、70歳以上の方の上限額が変わります

平成30年8月から、70歳以上の方の上限額が次の表のように変わります。

〇見直し前(平成30年7月診療分まで)

適用区分	外来 (個人ごと)	ひと月の上限額 (世帯ごと)
現役並み	年収約1160万円～ 年収約370万円以上 課税所得690万円以上	57,600円
	年収約770万円～約1160万円 年収約370万円～約770万円 課税所得300万円以上	80,100円 (医療費-267,000)×1% <多数回 44,400円 ※2>
	年収約370万円～約770万円 課税所得145万円以上	80,100円+(医療費-267,000)×1% <多数回 44,400円 ※2>
一般	年収156万円～約370万円 課税所得145万円未満(※1)	14,000円 (14万4,000円) ※3
	Ⅱ 住民税非課税世帯 (年世帯収入80万円以下等)	8,000円
低所得者	Ⅱ 住民税非課税世帯	24,600円
		15,000円

〇見直し後(平成30年8月診療分から)

適用区分	外来 (個人ごと)	ひと月の上限額 (世帯ごと)
現役並み	年収約1160万円～ 年収約370万円以上 課税所得690万円以上	252,600円+(医療費-842,000)×1% <多数回 140,100円 ※2>
	年収約770万円～約1160万円 年収約370万円～約770万円 課税所得300万円以上	167,400円+(医療費-558,000)×1% <多数回 93,000円 ※2>
	年収約370万円～約770万円 課税所得145万円以上	80,100円+(医療費-267,000)×1% <多数回 44,400円 ※2>
一般	年収156万円～約370万円 課税所得145万円未満(※1)	18,000円 (14万4,000円) ※3
	Ⅱ 住民税非課税世帯 (年世帯収入80万円以下等)	8,000円
低所得者	Ⅱ 住民税非課税世帯	24,600円
		15,000円

※1 世帯収入の合計額が320万円未満(1人世帯の場合は383万円未満)の場合、「(世帯たし算所得)」の合計額が210万円未満の場合のみ適用。
 ※2 過去12か月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4割増しの「多数回」適用となります。
 ※3 年間のうち一般区分又は住民税非課税区分であった月の外来の自己負担額の合計額について、14.4万円の上限を設ける。

(厚生労働省HPより抜粋)

電離箱線量計

放射線科



RT JOURNAL

放射線

2018

vol.15

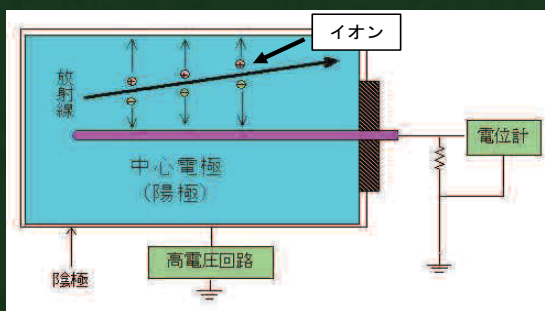
電離箱線量計

放射線は気体や物質中に入射すると、電離作用を引き起こします。電離とは、電気的中性の物質が何らかの影響によりプラスとマイナスの性質を持つイオンに分かれてしまうことを言います。この性質を利用し、ある空間内に入射した放射線により電離されたイオンを、図の動作原理のように電気をかけて集め、集まったイオン量により放射線の量を測定します。

構造が簡単で安定性が高いことから、放射線の環境測定や被ばく線量計など、多く活用されています。



測定器



動作原理

クイズ

人間の血液量はどのくらいでしょうか？



答えは下に有ります。

編集後記

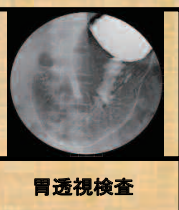
検査室は厚い壁で遮蔽されていますが劣化等が原因で漏えいする可能性もあります。放射線は目に見えないのでいつの間にか漏えいしてとなると怖いですね。そこで今回のような測定器が役に立ちます。具体的な数値が出てくると安心しますね。

よくあるご質問

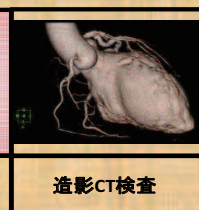
Q. 飲む造影剤と、注射する造影剤の違いは何か？

A. 飲む造影剤にはバリウム等があります。胃の透視検査や注腸検査がこれにあたります。付着したバリウムによって胃や腸の形を見やすくして病変の発見等に役立てています。

注射する造影剤にはヨード造影剤等があります。CT検査ではこのヨード造影剤を使用します。静脈注射する事で造影剤が血流に乗り全身に行き渡ります。行き渡ったタイミングで撮影する事で病変の発見等に役立てています。

バリウム
(飲む造影剤)

胃透視検査

ヨード造影剤
(注射する造影剤)

造影CT検査

(77461) 曹梁明=ET÷ (8K) 重斗 謝王

駐車場のご利用について

総務課

埼玉医科大学総合医療センターでは、以下のとおり駐車場を有料とさせていただいております。何卒ご理解・ご協力の程お願いいたします。

■来院者駐車場料金体系

外来患者さん	入庫から1時間無料	8時間まで300円	駐車券を病院内にお持ちになり、必ず検印を受けてください。
一般の方（面会含） ※外来患者さん以外		以降30分ごと 150円	検印はございません。

■検印の受付時間・場所

対 象	受付時間	場 所
外来患者さん	8時30分～17時30分	1階 医務課会計窓口
		高度救命救急センター
	17時30分～8時30分	1階 守衛室

※入庫時にお取りいただいた駐車券をご呈示の上、検印を受けてください。



外来受診について

初めての方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
- * 診療時間 9:00 ～ 17:00

再来の方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
(予約の方を除く)

予約以外の11時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行ってありますが11時以降の受付はできません。(再来で予約のある方を除く) また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

- ・ 咳、熱などの症状ある方やお子様の面会はお遠慮ください。
- ・ 必ず病棟の看護師に面会の許可を得てください。

アクセス

電車

池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線30分
川越駅下車
西武新宿駅より西武新宿線60分
本川越駅下車
大宮駅よりJR埼京線20分
川越駅下車
大宮駅よりJR高崎線9分
上尾駅下車
※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

川越駅東口より東武バス
(上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き)
(25分)埼玉医大下車
JR高崎線上尾駅西口より東武バス(川越駅行き)
(20分)埼玉医大下車
市内循環バス「川越シャトル」40系統 42系統 43系統

車

関越自動車道川越インターより8km、約15分
県道51号線(川越上尾線)沿い

保険証確認のお願い

当院では受診の際、毎回「保険証」の確認をさせていただいております。

その理由として、保険の資格喪失や有効期限切れが数多く発生し、保険者(会社・市町村等)に誤った請求をしてしまうからです。

会計受付時にファイルに入れてご提示ください。また、保険証を変更された際には速やかにお申し出ください。

ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



編集後記

かつてない梅雨明けと共に、吹く風も夏めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

暑い日が続く、外出するのも億劫な季節ですね。

さて、今回表紙を飾るイーグルバスですが、川越の観光名所を結んで走る路線バスのことです。

社内のアナウンスは、英語・中国語にも対応しているそうです。暑い日には、レトロな路線バスで小江戸観光などいかがでしょうか。

皆様、熱中症にならないよう、水分補給を欠かさずに夏のレジャーをお楽しみください。

次回の発行は9月を予定しております。

編集員

埼玉医科大学総合医療センターニュース 第51号

発行年月日 平成30年8月31日
発行 埼玉医科大学総合医療センター
発行責任者 病院長 堤 晴彦
連絡先 医療センターニュース編集局(医務課内)
印刷 ヨーコー印刷(株)